

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

| | | | | | | | | |
|----------------------------|---|----------|------------|--|---------|----------------------|----------------------|-----------|
| 事業名 | 若者職業的自立支援推進事業 | | 担当部局庁 | 職業能力開発局 | | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成18年度 | | 担当課室 | キャリア形成支援室 | | キャリア形成支援室長 浅野 浩美 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | Ⅱ-1-5 若年者のキャリア形成を支援する | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | - | | 関係する計画、通知等 | 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 若者雇用戦略(平成24年6月12日合意) | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | ニート状態にある若者の数は、依然として高水準で推移し(平成23年60万人 岩手・宮城・福島を除外)、これらの者の就労支援、職業的自立を図る上での課題は多岐にわたることから、地域の若者自立支援ネットワークを活用するとともに、キャリアコンサルタントによる専門的な相談等を行うことにより、ニート等の若者の職業的自立を支援することを目的とするもの。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | ニート等の若者に対し、地方自治体との協働により、地域の若者支援機関からなるネットワークを構築するとともに、その拠点となる「地域若者サポートステーション」を設置し、専門的な相談やネットワークを活用した誘導など、多様な就労支援メニューを提供。国から民間団体への委託により実施。 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算の状況 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | | |
| | | 当初予算 | 2,245 | 2,026 | 2,025 | 2,025 | 1,734 | |
| | | 補正予算 | △14 | | | | | |
| | | 繰越し等 | | | | | | |
| | 計 | 2,231 | 2,026 | 2,025 | 2,025 | 1,734 | | |
| | 執行額 | 1,953 | 1,975 | 1,987 | | | | |
| 執行率(%) | 87.5 | 97.4 | 98.1 | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (24年度) | |
| | <新成長戦略:2020年度までの目標> 「地域若者サポートステーション」による 就職等進路決定者数10万人 (2011年度(平成23)~2020年度(平成32)) | | 成果実績 | 人 | 4,660 | 6,742 | 12,165 | 12,000 |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 | |
| | サポステ設置数 | | 活動実績 | 箇所 | 92 | 100 | 110 | 116 |
| | のべ来所者数 | | (当初見込み) | 人 | 273,858 | 364,288 (290,000) | 454,675 (360,000) | (460,000) |
| 単位当たりコスト | 約 4,370(円/1人) | | 算出根拠 | 単位当たりコスト= 執行額(1,987百万円)/のべ来所者数(454,675人) (平成23年度実績) | | | | |
| 平成24・25年度予算内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | (目)職員旅費 | 2 | 2 | 地域若者サポートステーションの支援メニューであった「高校中退者等アウトリーチ事業」及び「生活支援等継続支援事業」を24年度限りとしたことに伴う減額。 | | | | |
| | (目)職業能力開発支援事業委託費 | 2,023 | 1,732 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 計 | 2,025 | 1,734 | | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | ニート等の若者の数は依然として高い水準で推移しているためニーズは高い。 「新成長戦略」や「若者雇用戦略」等において、本事業の推進を図ることとされており、優先度は非常に高い。 また、若者は我が国の将来を担う人材であるため、その職業的自立を支援する本事業は国で実施すべきである。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | - | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・使途 | △ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | 本事業のうち地域若者サポートステーション事業については、地域の実情に応じた独自の支援を展開するため、若者支援に係る専門的ノウハウ、知識、経験等を活かした創意工夫が必要であることから、都道府県の推薦又は自治体の推薦及び都道府県の同意を受けた団体について、厚生労働省において企画競争方式により調達。 単位あたりコストについては、毎年下がってきているところ。 若者自立支援中央センター事業については、IT分野における専門的技術・ノウハウが必要なウェブサイトの保守・管理についてのみ外部委託しており、中間段階での支出は合理的である。 支出費目・使途については、事業の遂行に当たって必要最低限のものに限定している。 |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 「新成長戦略」に掲げられた就職等進路決定者数の目標値を見据えた毎年度の成果目標は達成しており、その活動実績・成果実績ともに着実に向上していることから、実効性の高い事業と判断できる。 |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | - | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | - | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | ○成果実績、活動実績ともに、毎年順調に実績を伸ばしており、また、単位当たりのコストも下がっている(約5,421円/1人→約4,370円/1人)ことから、一定の成果が上がっていると評価できる。 | | |
| | ○引き続き効率的、効果的な予算執行に努める。 | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 現状通り | 事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効果的な執行に努めること。 | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| 現状通り | これまでと同様に効果的、効率的な運営に努めながら事業を実施する。 | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| ○ 本事業の一メニューであった「若者自立塾事業」について、事業仕分けの対象となったところ。 ・事業仕分け第1弾 ・第2WG 事業番号2-7 若者自立塾(若者職業的自立支援推進事業) ・WG評価結果 : 「廃止」 ・取りまとめコメント 「平成17年から5年経過しているが、効果の検証や実績把握がきちりと把握できていないので、やり方を含め、一旦廃止して徹底的に見直すべき。」 | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | 947 | 平成23年行政事業レビュー | 818 |

※平成23年度実績を記入

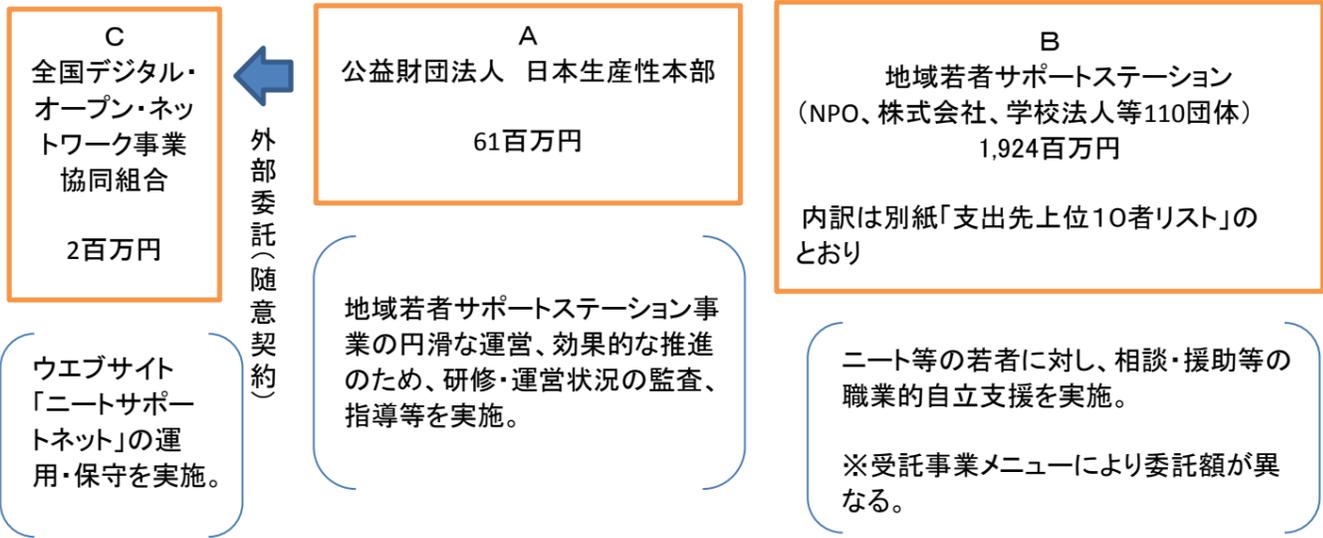


ニート等の若者の職業的自立に向け、地方自治体との協働により、その拠点となる「地域若者サポートステーション」(全国110か所)を設置。
地域サポートステーション事業の円滑な運営のため、各地域の拠点に対する支援を行う若者自立中央センターを設置。



【一般競争入札・委託】

【企画競争・委託】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

| A.公益財団法人 日本生産性本部 | | | E. | | |
|----------------------------|--|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 人件費 | 管理、相談部門の事務員配置 | 29 | | | |
| 団体事務経費 | 研修に要する経費、監査指導に要する経費等(旅費、会議費、印刷費、消耗品費、広報費等) | 22 | | | |
| 一般管理費 | OA機器借料、損料等 | 5 | | | |
| 消費税 | | 3 | | | |
| 外部委託 | 全国デジタル・オープン・ネットワーク事業協同組合 ウェブサイトの運用・保守 | 2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 61 | 計 | | 0 |
| B.地域若者サポートステーション(法人A) | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 人件費 | キャリア・コンサルタント、事務補助員の配置 | 23 | | | |
| 活動事務費 | 旅費、会議費、広報費、印刷費等 | 3 | | | |
| 消費税 | | 1 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 27 | 計 | | 0 |
| C.全国デジタル・オープン・ネットワーク事業協同組合 | | | G. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 事務経費 | ウェブサイトの運用・保守 | 2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 2 | 計 | | 0 |
| D.本省事務経費 | | | H. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 旅費 | 地域若者サポートステーションの業務指導等に係る出張旅費 | 2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 2 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|----------------|---------------------------------|--------------|------|-------|
| 1 | 公益財団法人 日本生産性本部 | 地域若者サポートステーションの運営状況監査・指導、研修の実施等 | 61 | 1 | 94.2% |

B.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---------|--------------------------|--------------|----------------|-----|
| 1 | NPO法人A | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 2 | NPO法人B | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 3 | NPO法人C | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 4 | NPO法人D | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 5 | NPO法人E | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 6 | NPO法人F | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 7 | NPO法人G | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 8 | 財団法人H | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 9 | 一般社団法人I | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |
| 10 | 株式会社J | 地域若者サポートステーションの運営(相談事業等) | 27 | 随意契約 (企画競争) | / |

C.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------------------|--------------|--------------|------|-----|
| 1 | 全国デジタル・オープン・ネットワーク事業協同組合 | ウェブサイトの運用・保守 | 2 | 随意契約 | / |